

3類型	鉱工業品	通巻番号	2-26-011
地域資源名	農業機械	認定日	平成27年2月2日
地域	山形県酒田市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名：稲作における低コストと省力化を同時実現する”無コーティング代掻き同時播種機”の開発と販路開拓**

会社名：株式会社 石井製作所

所在地：山形県酒田市局字惣田15-2

連絡先：TEL：0234-93-2211  
FAX：0234-93-2216

URL：<http://www16.plala.or.jp/isi-homepage/>

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・山形県酒田市の農機メーカーは80年以上前から農業機械の開発、製造に携わり、育苗関係機や籾搬送機等の稲作に特化した農業機械を数多く発明しながらも、近年の農家数の減少に悩んでいた。
- ・近年では飼料用米や、加工用米を中心に稲作の低コスト化を求められていることから、2012年より農研機構と協力し作業時間と生産費用を大幅に軽減できる、無コーティング代掻き同時播種機の開発に着手し大きな成果を上げている。
- ・本事業では無コーティング代掻き同時播種機を製品化し市場に普及させるとともに、これを中心とした販路開拓と自社製品を一般農家へ認知させるブランド作りを事業の目標とする。

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

**◆競争力**

- ・日本再興戦略において、米の生産費の4割の削減という方針に沿った点や、従来の育苗式、コーティング式の稲作と比較しコストを抑えられる点から既存製品に対し高い競争力を持つ。
- ・飼料用米や加工用米の需要が増加している点や、農地集約によりすべての水田で育苗方式が採用できなくなる可能性から、必然的に本機の必要性は高まるものとみている。

**◆市場性**

- ・平成24年度時の直播機の年間需要額は飼料用米、加工用米の国内市場規模は約150億、年間需要額は約3.5億円と試算されている。
- ・飼料用米、加工用米の年間生産量は5年平均で増加傾向にある。
- ・農家1戸当たりの平均耕作面積は増加傾向にあり、従来の育苗方式では賅えなくなる農家も存在する。こういった中で、一過性の物でなく継続して直播機の需要は増加するものと考えられる。

**◆販路**

- ・既存ルートである大手販社、農協、商社等を通じて、全国展開を目指す。基本的には無コーティング直播が可能であると判明している秋田県以南が対象となる。

**地域資源における関係事業者との連携**

- ・山形県酒田市の農業機械メーカーの持つ技術や歴史、販売網を生かすことで本機の製品化、販売化を図る。
- ・製品化後も東北農業研究センター、山形大学農学部、山形県農業総合研究センターらと協力し、実演会等の製品PRや製品改良に引き続き協力を願う。
- ・農業機械の新製品である点から、より低コスト化を求める農家の需要を喚起することができる。



写真1. 無コーティング籾



写真2. 無コーティング代掻き同時播種機



写真3. 直播後の経過